



須田小学校は、令和4年10月に創立150周年を迎えました。



須田っ子 第27号

学校教育目標「進んで心やからだをすこやかにする子」SA・SU・GA・DA

避難所設営体験

校長

昨年8月に須田小学校に加茂市から防災グッズが届けられました。体育館のギャラリーに収納していましたが、もしもの時を想定した場合、子供たちのできることを増やすことは大切なことだと考えて、出前講座で、避難所設置体験を防災専門員の方から指導をしていただきました。6年生は、話をよく聞き、段ボールベッドやテント、簡易トイレなどを設営していきました。片付けも自分たちで行い、ギャラリーにあげるところまでしました。

もし災害にあっても、支援を待つだけではなく、今できることを自分たちでしようという姿勢が育ったのではないかと思います。

〈6年生の感想〉

- ・もしも災害が起きたらを想定して、段ボールベッドや簡易トイレ、テントの立て方を覚えました。最初は作るのが難しいと思っていたけれど、やってみるとそんなに難しくはなく、簡単に作れたし、思っていたよりも頑丈で驚きました。もしも災害が起きたら、今日勉強したことを生かして自分たちでできることをしていきたいです。
- ・避難所設営体験はとても楽しかったし、初めて聞く道具もたくさんあって、いい時間でした。もし災害が起きたときは、無理しないで、できることをしようと思いました。
- ・避難所設営体験で今まで習ったことのないことを学ぶことができました。自然災害が起こった場合、どのような対応をすればよいかは習ったことがありましたが、避難した後、どのような行動をとればよいかは習ったことがなかったので新鮮な気持ちになりました。段ボールベッドやテントの組み立てなど、自分たちでも簡単にできたので、もし自然災害が起こった際には、これらのことで協力できればいいなと思いました。
- ・今回初めて避難したときに使うものを組み立てて、思ったより簡単でびっくりしました。特に段ボールベッドは意外とかたいのに、簡単に作れて驚きました。万が一避難する日が来た場合は、この体験で知ったことを生かして教えたり、使ったりしたいです。
- ・段ボールベッドやワンタッチテントが簡単に作れるのかと驚きました。また、要配慮者のために起き上がりやすくなっていたり、ほこりなどをなるべく吸わないようになっていたり、プライバシーにも気を使っていたりと、簡単だけど配慮のできるものになっているのがすごいと思いました。もしも、災害が起きてしまったら、まず自分の身の安全を確保し、それから、自分のできることをできたらいいと思いました。
- ・避難所設営体験は楽しく勉強ができました。災害時に手伝いができるようになったのでよかったです。中学校生活や大人になっても使えるので、覚えておいて役立てたいです。
- ・災害時に役立てることを学びました。テントやベッド、トイレをとっても簡単に組み立てられることに驚きました。段ボールベッドはかたそうと思ったけど、意外に柔らかかったです。災害が起きたとき、協力できそうと思いました。
- ・この体験をして、実際に災害にあったときに困っている人を助けようという気持ちが深まりました。段ボールベッドは道具なしであんなに強度の強いベッドができることにびっくりしました。実際に災害が起きたときにも、自分から、できることを探していきたいと思いました。



対話のある学び

※次号で、「健やかな体づくり」を紹介します。

1 基礎学力を育む：「知識及び技能」について確実に身に付けさせる。

(1) 評価方法：「国、算、社、理」（1，2年生は国、算）のワークテストの「知識・技能」で全児童が全国平均点以上。

A：すべてのワークテストで、すべての児童が全国平均点以上。

B：国語と算数のワークテストで、すべての児童が全国平均点以上。（1，2年生は、どちらかのワークテストで全児童が全国平均点以上かつもう一方のワークテストの80%以上で全児童が全国平均点以上）

C：Bに満たない。

(2) 現在の評価：C

今後も組み合わせ学習で学習したことが定着するように指導していきます。また、身に付いていないようであれば、授業の中で繰り返し指導をしたり、個別指導したりしていきます。

2 対話力：「思考力、判断力、表現力等」について、確実に身に付けさせる。

(1) 評価方法：学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」の内容について、各学年で作成した評価項目の内容を達成している割合

A：達成できている児童の割合が100%。 B：80%以上。 C：Bに満たない。

(2) 現在の評価：B（スピーチタイムなどで相手意識をもたせることができました。）

対話力については、国語の「話す、聞く」で学習したことを身に付けさせ、各教科等でも活用することで、対話力を向上させていきます。

3 協働問題解決力：地域から学んだことをこれからの自分の生活や地域に生かす力を身に付けさせる。

(1) 評価方法：児童アンケート「須田や加茂のよさが言えますか」での肯定的な割合

A：7割以上。 B：5割以上。 C：Bに満たない。

(2) 現在の評価：A（全校では、90%以上が肯定的な回答をしています。）

4 取組内容

(1) 公開授業 主なものを紹介します。

1年担任 国語「いろいろなふね」 2年担任 道徳「およげないりすさん」 3年担任 算数「円と球」



4年担任 国語「一つの花」



5年担任 道徳「ケンタの役割」



6年担任 算数「比とその利用」



ひまわり共室担任 道徳「きまりのない国」



教務主任 理科6年
「てこのしくみとはたらき」



教頭 4年社会「水産業の盛んな地域」



校長 5年体育「バスケットボール」



栄養教諭 3年学級活動「バランスのよい食事」



G I G Aスクール関係
Chromebook や電子黒板、デジタル教科書などの活用



調べ活動に



話し合いに



発表のときに



黒板の代わりに



ドリルとして
様々な場面でICTを活用しています。



記録するために

(2) 対話力を意識した取組
授業だけでなく、行事などでも話し合っ
て決め、実行する活動を取り入れて
きました。



150周年のダンス
いくつか選択肢を
示して、各グループ
で踊り方を決めました



チューリップの球根をど
のように植えるか話し合
って決めました。

保健室の先生 4年体育「育ちゆくからだわたし 思春
期にあらわれる変化①」



(3) 協働問題解決力育成のための「須田 d y 科 (すたでいか)」など



1年生 加茂山公園でどんぐり拾い



2年生 郵便局見学



3年生 梨の収穫体験



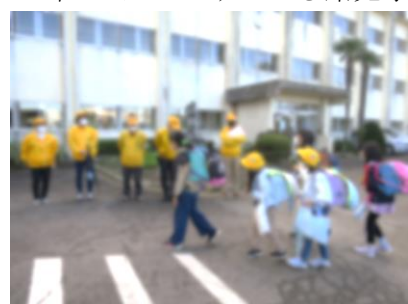
4年生 にとこみえ〜る館見学



5年生 田植え体験



6年生 神楽舞体験



ひまわり会あいさつ運動



地域奉仕作業



保育園へのあいさつ運動



交通安全教室



保育園と合同避難訓練

2月のカレンダー ○誰にでも明るく気持ちの良い挨拶をしよう。○感謝の気持ちを相手に伝えよう。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1日(水) 学習参観 全学年5時間授業 | 13日(月) ひまわり会あいさつ運動 |
| 2日(木) がんばりタイム | 6年生ありがとう週間(～27日) |
| 3日(金) 須童集会 安全点検日 | 14日(火) 委員会(4, 5, 6年生) |
| 6日(月) 預り金振替日 <u>火曜時程(帰りの時間)が火曜日と同じになります)</u> | がんばりタイム |
| 7日(火) <u>月曜時程(帰りの時間)が月曜日と同じになります)</u> | 16日(木) がんばりタイム |
| 9日(木) がんばりタイム NRT 学力検査(国) | 20日(月) 新一年生学用品販売・入学説明会 |
| 10日(金) NRT 学力検査(算) | 21日(火) がんばりタイム |
| 11日(土) 建国記念の日 | 23日(木) 天皇誕生日 |
| | 24日(金) 全校集会 |
| | 28日(火) 6年生を送る会
(大なわ大会含む) |

